

第 24 期・第6回 ビッグデータ分科会 議事要録

(※情報ネットワーク社会基盤分科会、ユビキタス状況認識社会基盤分科会と共同開催)

開催日時： 令和 2 年 1 月 9 日(木)12:00- 13:00

開催場所： 日本学術会議 5 階 5-A(1)(2)会議室

出席者(敬称略)：

西尾、長谷山、黒橋、原(以上、Skype)

松田、松井、樋口、高安、仙谷、北川、鳥澤、木俣、大倉、徳山、有田、石塚、今井、 安信、相澤(清)、喜連川、東野、相澤(彰)、辻(以上、現地)

議事次第： 2020 年度の活動について

今後のシンポジウム開催案について議論を行い、機械工学委員会・生産科学分科会との共同開催によるシンポジウムの開催を検討することとなった。

主な議論；

(1)2019 年度の活動報告

- ・昨年 1 月の分科会での議論を受け、災害関係のシンポジウムを検討していたが、別分科会での実施と重なるため、内容を見直した。
- ・11 月 15 日に「Society5.0 時代の CPS」としてシンポジウムを開催し、人間中心 CPI、データの社会活用等について議論を行った。聴講者は 100 名を超えた。

(2)2020 年度の活動、および、シンポジウム開催についての意見交換

- ・昨今のビッグデータ活用現場における課題として AI 技術に資するビッグデータの課題について議論した。特にセキュリティ分野への AI 技術の適用や生産現場でのスマートマニュファクチャリング、バイオ分野等への応用について議論が行われ、スマートマニュファクチャリングを第一候補として今年度のシンポジウムを検討する事になった。
- ・本日の議論内容を元に、幹事団にてシンポジウムのデザイン案を検討することとなった。

以上